

学部・研究科等の教育に関する現況分析結果

学部・研究科等の教育に関する現況分析結果（概要）	1
1. 政策研究科	3

注) 現況分析結果の「優れた点」及び「特色ある点」の記載は、必要最小限の書式等の統一を除き、法人から提出された現況調査表の記載を抽出したものです。

学部・研究科等の教育に関する現況分析結果（概要）

学部・研究科等	教育活動の状況		教育成果の状況	
政策研究科	【2】	相応の質にある	【2】	相応の質にある

1. 政策研究科

(分析項目Ⅰ 教育活動の状況 4)

(分析項目Ⅱ 教育成果の状況 5)

分析項目Ⅰ 教育活動の状況

〔判定〕 相応の質にある

〔判断理由〕

教育活動の基本的な質を実現している。

〔特色ある点〕

- 平成 30 年度から、全学的な科目として政策研究大学院大学学長による必修科目「The World and the SDGs」を修士課程国際プログラムで開講、さらに、令和元年度からは修士課程国内プログラムの必修科目として「世界と SDGs」を開講している。本科目では、学生が自国の SDGs に関する政策提言を実行できるよう学生に課題を設定させるなど、現実課題に対応できる人材育成のための取組を実施している。
- 特定分野での実践的・専門的能力等を習得するため、海上保安庁、防衛省、国立研究開発法人土木研究所などの機関と連携した教育プログラムを実施。連携プログラム方式を採用することで、講義と演習を組み合わせた実践的学修プログラムを提供している。
- 自宅等から講義資料等のダウンロードや教員との質疑応答等ができる ICT による学習支援システムの導入や、Google のサービスを利用し、全学生が容量制限のないオンラインフォルダを利用できるように拡張するなど、学生の研究遂行に必要な環境を整えてきた。
- 一年間に複数回の入学選抜試験の実施、国際通貨基金（IMF）、世界銀行（WB）といった奨学金拠出機関や国交省・防衛省など職員派遣機関との調整を行うなど、きめ細やかな受け入れ体制を整えている。

分析項目Ⅱ 教育成果の状況

〔判定〕 相応の質にある

〔判断理由〕

現況分析単位の目的に沿った基本的な教育成果が認められる。

〔特色ある点〕

- スチューデントオフィスにおいて、世界各国で活躍している修了生を毎月1名選び、”Alumnus of the Month（今月の修了生）通称：ALMO”としてインタビューを行い、修了生の現在の活躍を大学ホームページに掲載するとともに、平成28年度には冊子として発行を行った。